

事業計画名

社会資本ストックの延命化に資する  
超緻密高強度補強材料の開発製造と普及



車載型大型J-Tミキサー



移動式J-Tミキサー



施工動画がご覧になれます

## コンクリートに革命を起こす「J-ティフコム(J-T材料)」の普及へ

社会インフラ構築の中心材料として、20世紀の高度経済成長期から多用されてきたコンクリート。50年以上の時を経た今、半永久的と謳われたその耐久性にも老朽化によるかげりが見られ、劣化や損傷により建て替えや修理補修の必要性に迫られている。そこで、コンクリート構造物にイノベーションを起こすべくJ-ティフコム(J-T材料) (超緻密高強度繊維補強コンクリート)を開発したのが(株)サンブリッジだ。

本事業では、同コンクリート材料を現場で大量練混ぜできる車載型大型ミキサーの製作と、同材の超早強硬化型への改良開発を実施して、連続製造・施工と早期交通開放が可能な補修・補強工法を確立し、大規模工事の受注も実現した。

## 200年間壊れない補修・補強材

J-ティフコム(J-T材料)は、ナノ繊維(鋼繊維)混入率4%以上という超緻密で高強度を有する補修・補強材料。流動性と材料分離抵抗性に優れ、現場で直接連続施工が可能で、既設構造物補修はもとより新設材料としても有効だ。外面に適用すれば劣化因子の侵入が遮断でき、構造物の長寿命化が可能。水も通さないため橋梁施工では床版防水層を必要としない。その性能は、平成28年度ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)最優秀レジリエンス賞受賞という形で認められた。

当初は土木分野で有名なスイスの連邦工科大学との連携から始まった開発事業。実に8年の歳月をかけ日本独自の材料



配合にたどり着き、ついに特許の取得にも至った。土木研究所では200年間壊れないというデータも採取でき、品質は折り紙付きだ。

## 協会を組織、普及のための体制作りへ

現在、道内はもちろん西日本を中心に本州でも施工実績を着実に伸ばし、オフ案件数も増加中。今後は協会を組織するなどして他社でもJ-ティフコム(J-T材料)を用いて施工できるようにしたいと語る三田村社長。また、補助金で製作した専用の大型ミキサーを大量に作り、施工会社で購入してもらうことで、各現場で稼働できるような体制作りを目指している。



代表取締役

三田村 浩

北海道は凍結融解の繰り返しでコンクリートの劣化が早い。J-ティフコム(J-T材料)はその条件下で開発されたことが強みだと思うんです。

道路、橋、トンネル、ビルなど社会インフラの30%近くがコンクリートで寿命は50年。今それをコスト優先の通常材料で補修してすぐまた壊れるの繰り返しです。コンクリートを愛する者として何とかしたいという思いが強いですね。

## TOPIX

### 独自開発のスチーム洗浄装置で コストと工期の圧縮を!

橋梁洗浄などで局所瞬間的な加温加湿状態でのブラッシング洗浄ができる。洗浄廃水もほとんど出ず、漏水防止対策、汚濁水の集水処理・廃棄処理の施設・設備が不要となるためコスト削減や工期短縮が可能で、環境にもやさしい。

#### COMPANY DATA

### 株式会社サンブリッジ

TEL.011-768-7359 FAX.011-768-7756

<https://www.j-thifcom.co.jp/>

住 所 北海道札幌市北区北25条西4丁目1-26  
レジデンスオオミ25 F201号

代表者名 三田村 浩

資本金 900万円

設 立 平成26年1月

事業内容 コンクリート構造物の補修・補強工事、それらに関するコンサルティング業務